



# インターネット利用滝川市の現状とは！！



令和5年7月に市内小学校3年生から中学校3年生までの児童・生徒とその保護者を対象に「インターネット利用に関する意識調査」を行いました。詳しい調査結果につきましては、市公式ホームページにも掲載しています。

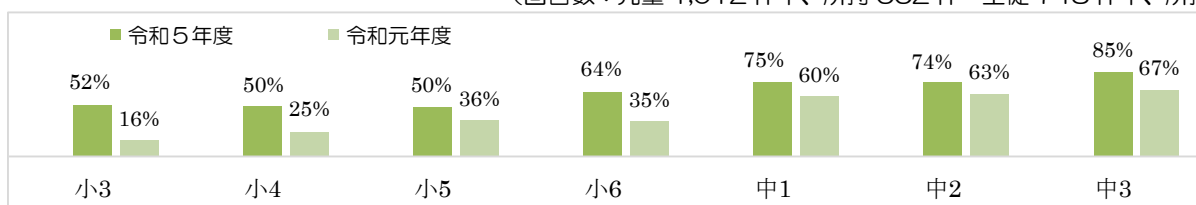


## スマホ等の所持率や所持した時期について！！（児童・生徒に聞いてみた）

今回の調査では、スマートフォンやタブレット等の所持率が前回調査（令和元年度）より、どの年代も上昇しており、所持する時期についても低年齢化していることがわかりました。

スマートフォン（携帯電話を含む）やタブレットの所持率（前回調査との比較）

（回答数：児童 1,012 件中、所持 552 件・生徒 748 件中、所持 576 件）



## スマホ所持のメリット・デメリット

### 《メリット》

#### ・すぐに連絡が取れる

～子どもの成長にともない学校・習い事・学童・公園など、親の目が届かない場所での生活や、遊ぶ時間が増えていくが、そうした状況でも、子どもとすぐに連絡を取ることができる。

#### ・居場所確認ができる

～位置情報が共有できるアプリを使えば、子どもの居場所を保護者のスマホで確認できるようになる。

#### ・ITリテラシー

～スマホの利用はIT社会に順応するための入り口。スマホを使って利用できるサービスは急増しており、ルールを守り使うことによってITリテラシーを身につけることができる。

#### ・情報収集能力がつく

～ネットを使って情報を検索し、収集することができるようになる。わからないことがあれば自分で調べるといった習慣が身につけられ、こうした情報収集能力は勉強にもいかすことができる。

### 《デメリット》

#### ・依存のリスク

～スマホがいつも手元にないと落ち着かない状態になることがある。子どもは大人に比べて自制心が効きづらく、依存症になるリスクが懸念される。

#### ・犯罪やトラブルに巻き込まれる危険がある

～SNSやLINEなどは多くの人とつながりコミュニケーションが取れる反面、何らかのトラブルに遭遇したり巻き込まれるリスクもはらんでいる。いじめ・個人情報の流出・炎上・誹謗中傷・自撮り被害・アカウントの乗っ取りなど、現在はトラブルの種類も増えている。

#### ・視力低下の恐れがある

～スマホに向かっている時間が長い、瞬きが少ない、極端に近い距離でスマホを見てしまうなどの行動は目の負担になる。

#### ・成績に影響する可能性がある

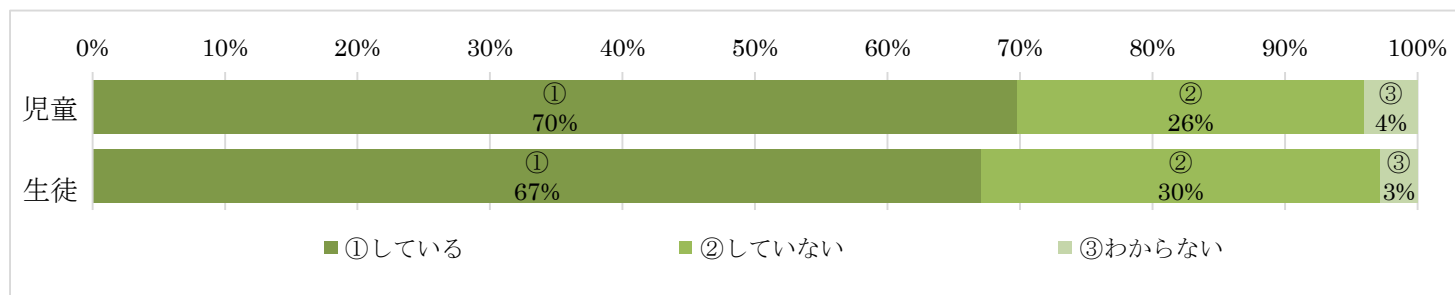
～スマホを長時間使いすぎてスマホ依存のような状態になれば、勉強をする時間が削られ成績にも影響が出てくる可能性がある。また、スマホにLINEなどの通知があると、勉強中でも気になってチェックしてしまうなど集中力を欠いてしまう。



## フィルタリングについて（保護者に聞いてみた）

### フィルタリング（アクセス制限）の設定について

（回答数：児童保護者 359 件・生徒保護者 449 件）



フィルタリングの設定については、児童・生徒ともに約3割が設定していない。理由としては、児童の保護者では「やり方がわからない」、「親の物であり子どもの物ではないため」、生徒の保護者では、「子どもを信用しているため」、「面倒なので」のほかに「制限するのではなく、本人に判断させたい」という回答がありました。

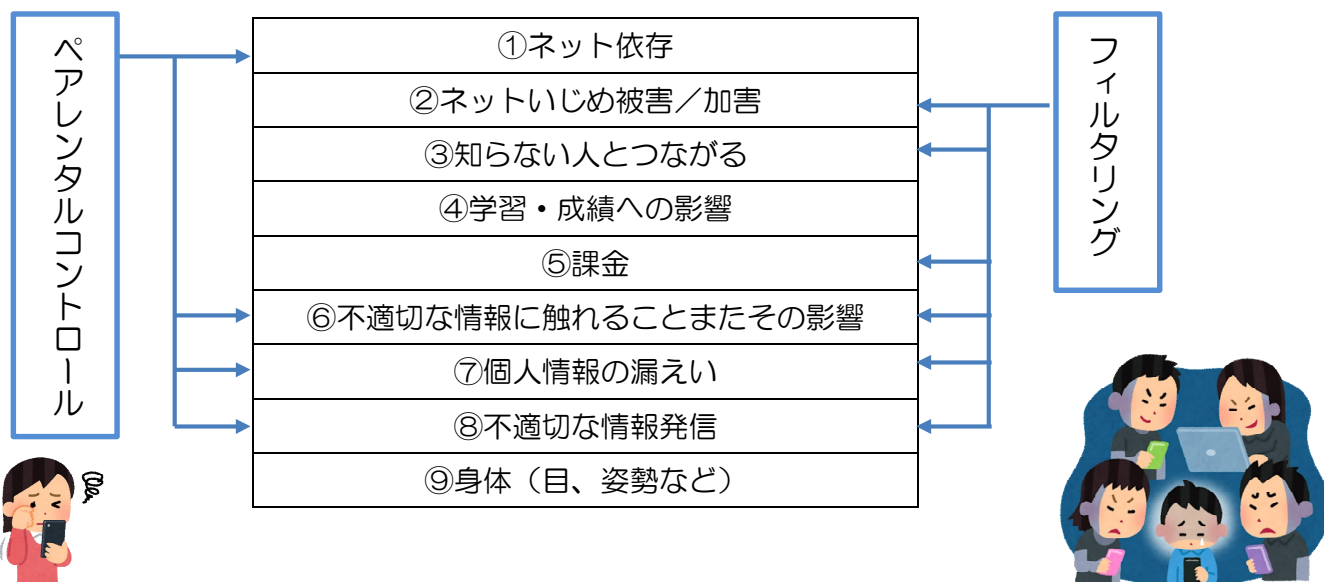


## スマホやネット利用に関する心配・不安（保護者に聞いてみた）

### スマホやインターネットの利用で心配していること

（回答数：児童保護者 340 件・生徒保護者 238 件）

児童・生徒の保護者ともに、「いじめや SNS でのトラブル」、「依存」、「犯罪に巻き込まれること」や「視力の低下」、「知らない人とつながること」などの回答が多く、他に「親自身が適切な利用方法を教えらるほど十分な知識がないこと」、「利用時間が長くなることで生活リズムが崩れてしまうこと」という回答もありました。



犯罪やトラブルからお子さんを守るためには日頃からのコミュニケーションが大切です。「ペアレンタルコントロールやフィルタリング」などの技術で軽減できることは技術に任せて①②④⑨に親子で向き合しましょう！！



保護者の皆さんの理解と注意がお子さんを守ります！

【発行】 滝川市教育委員会社会教育課

TEL：28-8046

